

# 民報 あばしり

NO. 946

2013・11・24

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三二・四四五八  
F 四三二・四四五七



## 消費税増税の凍結を求める

### 市民の会」結成される！

16日午後2時からエコーセンターで「会」の結成集会が行われ、5つの団体の代表、オプザーバーを含む個人、約40名が参加しました。はじめに、呼びかけ団体の日本共産党松浦敏司委員長から、開会あいさつと経過報告がありました。

経過として、安倍首相が来年4月から消費税を現行5%から8%に引き上げると発表したことから、「一致できる一点での共同」をしようと、政治的立場を超えて呼びかけてきたこと。

市議団を中心に全政党、労働団体、JA、漁協、商工会議所などの団体、市民団体、事業主など100件を超える団体や個人を訪問してきたこと。全日本年金者組合網走支部、新日本婦人の会網走支部、北見民主商工会網走支部、北見生活と健康を守る会網走支部が参加表明し準備を進めてきたことが報告されました。

訪問した中で、「今もギリギリで経営しているのに8%になったら経営できない。孫受けだからこれまで消費税はもらっていない、少ない利益から自腹を切って税務署に納めてきたが、8%になったら払えない」など切実な声が聞かれました。また、商工会議所のアンケートでも約4割の事業者が商品に転嫁できないと答えています。

消費税が増税になれば網走の地域経済が壊れてしまう恐れがある。「消費税増税の凍結を求める市民の会」を結成して、安倍首相に消費税増税は凍結せよの声を届けましょうと訴えました。

次に、全日本年金者組合の大西一興書記長から「会」の目的、規約、役員体制について提案され、質疑応答のうえ、一部修正して確認、当面の活動方針を決定しました。最後に、決議文を採択し閉会しました。今後、「市民の会」結成のピラや入会申し込みなどを作成して、活動を広げることを確認しました。



消費税増税の凍結を求める網走市民の会(仮称)結成集会

## いよいよ東奔西走

先日、総務・文教委員会が開かれ、市民健康プール建設概要について審議が行われました。ここで問題となったのは、12月議会直前に基本計画の概

要・基本設計らしきものが出てきたことです。このプールは、国からくる「地域の元氣交付金」を使い、事業期限が平成26年度中という非常に詰まったもので6月議会会場のときに説明を受けていたものです。計画では9月議会まで基本計画・基本設計ができて、それを水泳協会をはじめ各関係団体や関係者と再度詰め、議会でも審議するスケジュールでした。

これが、どこでどうしてしまったのか、大幅に遅れ十分関係者との協議、議会との十分な審議を保障できないものになってしまいました。通年化は水泳関係者や市民の30年来の悲願であり、市としても長年の懸案事項でした。今後、30、40年と活用される施設です。時間はなくとも、水泳関係者や市民が利用しやすい施設にするために市は要望の真摯な受けとめと丁寧な説明、議会には十分な時間を確保したうえで活発な審議が求められています。

## 秘密保護法案

国民の目、耳、口をふさぐ秘密保護法案が衆院国家安全保障特別委員会で審議されています。

与党は今週中にも委員会での採決や衆議院通過を狙っています。この法案めぐり与党と維新の会、みんなの党、が修正協議をしており、民主党も修正案をまとめると言われています。

日本共産党は「修正案は、行政機関の長が『特定秘密』を指定しそれをもたらしたりアクセスする国民を処罰するという法案の一番の骨格に触れていない」として、「修正」ではなく「徹底審議で廃案に追い込む」と言っています。この国会の動きに対し、野中広務元官房長官や古賀誠自民党元幹事長はテレビ番組で、「どうして今、この法律があるのか、分からない。戦争の足音が聞こえてくる」「この法律は恐ろしい方向へ進んでいく危険な感じがする」と言っています。国民世論で廃案に追い込みましょう。

## 流水

相次ぐJR北海道の事故、鉄道は大事な国民の足だ。安全で、正確を守って欲しい▼64年前の8月列車の転覆が東北本線松川駅近く

で起こり、乗務員3人が死亡した松川事件。事件発生後直ちに国鉄と東芝松川工場の労働者計20名が逮捕、起訴された。1年後死刑5人無期懲役5人を含め全員有罪の判決が出た▼一方この年の1月の総選挙で日本共産党は35議席を獲得し躍進の風を吹かせていた。当時の首相や閣僚達は「転覆事故は共産党の仕業だ」と反共攻撃を繰り広げ共産党に恐れイメージを与えるのに躍起だった▼国鉄労組のリーダーだった鈴木、阿部さんは獄内で死刑を言い渡されたが動じず「同じ国鉄の仲間をどうして殺せるか自分は何もしていない」と。被告達は謀略をはね返す闘いははじめ、四つの誓いを胸に刻んだ①第二審で必ず勝つ②真実は最後まで守る③家族と獄外の仲間を励ます④体を鍛える▼被告達の不屈の闘志が国民の運動を呼び起こした。当時、私の職場にも被告の一人が無実を訴えにこられた。それに応えて激励のハガキを送ったのを覚えてる。事件から14年たった1963.9.12日最高裁で無罪判決が言い渡され被告全員が冤罪を晴らした▼鈴木元被告は「権力犯罪そのものでした。この厚い壁を打ち破っていったのは真実と道理を愛する国民の壮大なエネルギーでした」と。鈴木さんは今年7月93才でなくなりました▼国の重要な機関を狙い、人命も奪う犯罪を計画的に起こし反共攻撃をする卑劣さ！犯人は不明のまま時効となった。(U)